



いちご営農情報（降雪後の技術対策）

R6.2.6 JA はが野・芳賀農業振興事務所

降雪によるハウス内気温、地温の低下、湿度の上昇、ハウスの破損等予想されますので、以下のことに注意し生育、品質向上を目指しましょう。

- (1) ハウスに雪が積もっている場合には、速やかに雪下ろしを行う。なお、倒壊に巻き込まれないよう、安全を常に確認し作業すること。
- (2) ハウスが破損した場合には、早急に修理し、保温に努める。
- (3) 単棟ハウスのサイドに雪が残った状態では巻き上げができなくなるので除雪を行う。特に、自動換気システムが導入されているハウスでは、換気時に無理な力がかかり、モーターやビニールの破損につながるので注意する。
- (4) 暖房機があるハウスでは、積極的に使用し融雪を促す。
- (5) 天候が回復すると急激にハウス内温度が高くなるので、換気に注意する。また、天候回復後は光線量が強くなるため、内張りカーテンを反対側に開ける逆サイド換気を行い、遮光による果実焼けの防止とともに冷気の流入を最小限にとどめる。
- (6) 地温が低下し、根の活力が低下しやすいため、酸素供給剤、発根促進剤等を最初のかん水時に一緒に使用する（特に株疲れしたほ場で有効的）。
- (7) 雪解け水（冷水）がハウス内に入らないよう注意する。
- (8) 循環扇が導入されているハウスでは、ハウス密閉時に稼働させ、空気の流れを作る。炭酸ガス発生装置にファンが装備されている場合は、循環扇と同様に稼働させる。
- (9) ハウス内が多湿になると灰色かび病、菌核病が発生しやすくなるため、天気回復を待って薬剤散布を行う。
- (10) 降雪後、ハウス入り口付近はぬかるんでいることが多いので、ハウスに入る際には泥等を落とし、果実を汚染しないよう注意する（花梗が長いほ場ほど注意が必要）。



気象災害による農業被害を未然に防ぐため、
技術対策情報が携帯電話等に直接メール配信される
「とちぎ農業防災メール」のご登録をお願いします！

併せて、気象警報・注意報等が直接メール配信される
「栃木県防災メール」のご登録をお願いします！



↑「とちぎ農業防災メール」
登録はコチラから



↑「栃木県防災メール」
仮登録はコチラから